

# 日本経済の現状と政策課題

大正大学地域創生学部教授  
小峰隆夫

- \*戦後2番目の景気拡大を考える
- \*今回の景気拡大の特徴
- \*景気拡大の評価に疑問も
- \*これからの景気動向を予測する
- \*2019年の消費税引き上げの影響
- \*「駆け込み」と「反動」への対処法
- \*東京五輪後に不況は来るのか
- \*懸念されるトランプの保護主義傾向
- \*求められる経済政策の転換
- \*困難さ増す財政再建をどうするか



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は小峰隆夫先生においでいただきました。  
経済企画庁で日本経済の分析をされ、その後法  
政大学で教鞭をとられておりましたが、現在は  
大正大学で教授をされておられます。

このところ経済の話が少なくなりましたけれども、今日は正統的な経済分析をしていただきまして、しかも皆さんたいへんご興味がおありになると思いますが、日本の政策課題についても十分お話をいただけると思います。政治の問題や外交の問題でいろいろるさいのですけれども、経済のほうも順風満帆というほどよくはないし、先行きも明るいかどうかよくわからないということがございますので、今日のお話を頭をクリアにしていただけだと思います。そ

れでは小峰先生よろしくお願いいたします。（拍手）

## 戦後2番目の景気拡大を考える

**小峰** 皆さんこんにちは。大正大学の小峰と申します。どうぞよろしくお願いいたします。  
今日は、日ごろ私が日本経済について、当面の課題についてどういうふうに考えているかを中心にお話をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず最初に景気について考えてみたいと思います。景気の現況です。現在は戦後で2番目の長さで、いざなぎ景気をすでに超えて、たいへん長い景気拡大になっています。

私はこの会でも何回かお話しさせていただ